

指定管理者制度導入施設 年度評価シート

評価年度	令和7年度
------	-------

1 基本情報

公の施設名	相模原ギオンアリーナ（相模原市立総合体育館）、ほねごりアリーナ（相模原市立北総合体育館）、相模原北公園スポーツ広場
指定管理者名	総合体育館グループ運営共同事業体 【構成団体】 (公財)相模原市まち・みどり公社、(株)セントラルスポーツプラザ、(株)フクシ・エンタープライズ
指定期間	令和6年4月1日から令和11年3月31日まで（5年間）
施設設置条例	相模原市立総合体育館条例、相模原市都市公園条例
施設の設置目的	【相模原ギオンアリーナ(総合体育館)、ほねごりアリーナ(北総合体育館)】 体育並びにスポーツ及びレクリエーションの振興を図り、もって市民の心身の健全な育成に寄与するため 【相模原北公園スポーツ広場】 公共の福祉の増進に資するため
施設概要	【相模原ギオンアリーナ（総合体育館）】 所在地：相模原市南区麻溝台2284-1 開設：昭和56年11月1日（平成20・21年度改修） 建築面積：9,811㎡、延床面積：12,926㎡ 構造：鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）地上2階地下1階建 1階・大体育室（36m×61.5m）・中体育室（31.3m×34m）・小体育室（18.5m×34m） ・剣道場（16m×30m）・柔道場（16m×30m）・弓道場（和弓5人立ち・洋弓）・トレーニング室・幼児体育室 2階・ジョギングコース（1周224m）・会議室 【ほねごりアリーナ（北総合体育館）】 所在地：相模原市緑区下九沢2368-1 開設：平成3年9月8日 建築面積：5,918㎡、延床面積：14,141㎡ 構造：鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）地上3階建 1階・柔道場（160畳）・剣道場兼卓球場（29m×14m） 2階・体育室（51m×37m）・多目的室（遮音室）（17m×14m）・トレーニング室 ・大会議室・小会議室・幼児体育室 3階・弓道場（和弓6人立、洋弓）・ジョギングコース（一周230m） 【相模原北公園スポーツ広場】 供用開始年度：平成4年度（平成9年度一部改修） 敷地面積：10,400㎡ 多目的運動場 夜間照明施設5基
施設所管課	市民局 スポーツ施設課

2 管理実績

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
【総合体育館】利用者数合計（人）	320,005	375,664	431,342	408,822			
【総合体育館】利用料金合計（円）	39,939,017	44,977,378	45,519,100	47,308,652			
【北総合体育館】利用者数合計（人）	185,748	219,195	276,774	274,968			
【北公園スポーツ広場】利用者数合計（人）	18,281	23,823	11,327	21,435			
【北総合体育館（広場含）】利用・使用料金合計（円）	32,150,654	35,767,445	36,000,752	38,702,038			

3 成果指標の達成度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
B	成果指標の達成度は、下記5つの指標の平均値が「約92.8%」となるため、「B評価」となる。目標値は近年の市民の趣味・娯楽の多様化を踏まえた現実的な数値の設定をしながら未達のものもあるが、両体育館の工事による休止や一部閉鎖の影響を受けているところで、前年より実績値が上昇しているところは大いに評価できる。指定管理者が推進する予約システムの活用やスポーツ団体への活動支援により、今後の実績値の向上を期待する。

指標1	
指標名（単位）	一般利用人数（人）
指標式と指標の説明	総合体育館における年間の一般個人利用者人数

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値（人）	152,000	152,000	80,000	100,000	115,000	132,000	152,000
実績値（人）	64,647	88,622	97,222	102,264			
達成度（%）	42.5%	58.3%	121.5%	102.3%	0.0%	0.0%	0.0%

指標2	
指標名（単位）	専用利用件数（件）
指標式と指標の説明	総合体育館における年間の専用利用件数

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値（件）	4,500	4,500	4,500	5,500	5,800	6,000	6,300
実績値（件）	3,648	3,855	4,632	5,684			
達成度（%）	81.1%	85.7%	102.9%	103.3%	0.0%	0.0%	0.0%

指標3	
指標名（単位）	一般利用人数（人）
指標式と指標の説明	北総合体育館における年間の一般個人利用者人数

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値（人）	138,000	138,000	84,000	100,500	115,500	133,000	153,000
実績値（人）	66,939	77,218	85,493	88,030			
達成度（%）	48.5%	56.0%	101.8%	87.6%	0.0%	0.0%	0.0%

指標4	
指標名（単位）	専用利用件数（件）
指標式と指標の説明	北総合体育館における年間の専用利用件数

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値（件）	5,400	5,400	5,500	6,700	7,000	7,300	7,700
実績値（件）	4,448	4,547	4,954	5,523			
達成度（%）	82.4%	84.2%	90.1%	82.4%	0.0%	0.0%	0.0%

指標 5	
指標名（単位）	スポーツ広場利用件数（件）
指標式と指標の説明	相模原北公園スポーツ広場における年間の利用件数

項目（単位）	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和１０年度
目標値（件）	1,420	1,420	780	790	800	810	820
実績値（件）	748	771	692	698			
達成度（％）	52.7%	54.3%	88.7%	88.4%	0.0%	0.0%	0.0%

4 事業の実施状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	達成度が「約115%」となることから「A評価」となる。総合体育館及び北総合体育館ともに、例年人気の「バスケットボールスクール」に加えて、健康づくりの事業が新規分も含めて大変好評となっている。毎年創意工夫して、自主事業に取り組んでいる姿勢を評価するところである。今後も、好調な事業の要因を分析し、他の事業の参加率向上につなげてほしい。

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
総合体育館・北総合体育館 スポーツの日無料開放	10月	個人利用無料開放を実施した。総体354人、北総体512人参加	○

企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
総合体育館 ギオンアリーナフットサル大会	10月	大会を通して、スポーツの楽しさを学び、大会参加者の親睦とフットサルの普及、技術の向上を図る。16チーム参加。	◎
総合体育館 卓球大会	5月	ゲームを通して卓球の楽しさを学ぶとともに、技術の向上と普及、体育館の利用促進を図ることを目的として実施。154名参加。	◎
北総合体育館 バドミントン教室（初級）	9～10月	競技を基礎から学び、バドミントンを行うきっかけとなる事業となった。参加者の中には、サークルに新規加入する方や、個人開放時に継続して来館する方が見受けられる。19人参加。	○
北総合体育館 バウンドテニス大会	10月	両体育館で活動するサークルの構成員に多数参加いただいており、市内バウンドテニス愛好者からは、毎年開催される大会が日々の活動のモチベーションとなっているとのお声を頂戴している。72名参加。	○
北総合体育館 ドッジボール大会	11月	相模原市緑区誕生15周年記念大会として実施。相模原市内チームの他、他自治体で活発に活動するチームも複数参加したことで、市内プレイヤーのレベル向上に寄与するとともに、普段交流の薄い参加者同士が広く親睦を深めた。20チーム参加。	◎

自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
総合体育館 相模原健康塾	2月	認知症に関する講座と体操を実施。100名満員の事業となり、利用者からも実施後にこのような事業をもっと実施して欲しいという声が寄せられた。	◎
総合体育館 ともいきゆうえんちイベントの開催	3月	神奈川県や県立相模原公園と共同実施。バラスポーツ体験などを実施。イベント全体では3,000名の来客があり、そのうち1,000名程度が相模原ギオンアリーナを訪れた。	◎
北総合体育館 北里大学介護予防研究チーム監修の体力測定	9月	体力測定を行うとともに北里大学の講師より日常的な運動のアドバイスをを行い、参加者の健康増進を図る事業。収集したデータは、北里大学により将来的な医療等に活用される。2日間に分けて実施。124人参加。	○
北総合体育館 バスケットボール教室	4～3月（通年）	Bリーグ所属チームから講師を迎え、小中学生を対象に競技レベル向上に資する指導を提供。延べ42回開催。1,529人参加。	◎
北総合体育館 ボディコンバット	4～3月（通年）	レスミルズ有資格者による指導のもと、様々な格闘技の要素を取り入れたエクササイズを安価に提供。オリジナルの音楽に合わせてフィットネス効果を高めています。延べ182回実施。3,301人参加。	◎

5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	調査結果としては、「約93.1%」の利用者の方に満足いただけており、達成度も「約103.5%」となることから「A評価」となる。今年度は予約システムの導入による予約フローの簡素化やキャッシュレス決済の導入、施設内のLED電球への切り替えなど、利用者に直接影響する部分での改善を重点的に実施したことで昨年度よりも評価が上がっているため、引き続いての取組をお願いしたい。

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	窓口での用紙配布及び専用WEBでアンケートで実施/総体587件、北総体542件、スポーツ広場137件
目標値の基準	総合的な満足度について、「満足」、「やや満足」の合計の割合。

【総合体育館】

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値（%）	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
実績値（%）	93.6	94.2	88.2	92.9	—	—	—
達成度（%）	104.0%	104.7%	98.0%	103.2%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!

【北総合体育館】

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値（%）	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
実績値（%）	87.7	88.3	82.7	90.2	—	—	—
達成度（%）	97.4%	98.1%	91.9%	100.2%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!

【北公園スポーツ広場】

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値（%）	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
実績値（%）	87.9	92.9	97.7	96.3	—	—	—
達成度（%）	97.7%	103.2%	108.6%	107.0%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!

その他の取組

取組事項	時期	取組内容
ホームページの問い合わせ	通年	ホームページにお問合せフォームを設け、ご意見の徴収を24時間、365日実施。来館を検討されている方や、対面もしくは電話でのご意見が難しい利用者からのご意見を伺うことができる。ご意見についてはEメールにより都度回答を実施している。
ご意見箱の設置	通年	管理事務所に「ご意見箱」を設置し自由なご意見を投函することを可能とし、当事者が回答を望む場合については、掲示板に回答を一定期間掲示している。

6 施設の経営状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
C	・代表団体である公社の経営状況はここ数年連続で収支赤字である。 ・フクシ・エンタープライズは経営状況、財政状況ともに問題になるような点はなかった。 ・セントラルプラザは経常損益までは黒字であるが、特別損失で店舗閉鎖損失2億3千万円計上され、最終損益は赤字となっている。 ・本体事業収支、全体収支ともに赤字である。

施設の収支概要		※直近3年間について記載			(千円)
項目		令和5年度	令和6年度	令和7年度	
収入（a）		269,244	282,648	287,588	
	指定管理料	171,888	196,183	196,183	
	利用料金収入	80,745	84,221	86,011	
	その他の収入	16,611	2,244	5,395	
支出（b）		294,675	314,675	318,499	
	人件費	101,424	108,472	108,928	
	本社管理経費	13,418	11,081	12,045	
	その他の支出	179,833	195,122	197,526	
本体事業収支【(a)-(b)】(c)		-25,431	-32,027	-30,911	
自主事業収入（d）		22,611	26,456	25,920	
自主事業支出（e）		7,303	7,092	8,486	
自主事業収支【(d)-(e)】(f)		15,308	19,364	17,434	
全体収支【(c)+(f)】		-10,123	-12,663	-13,477	
備考		千円単位での記載となるため、合計値が収支計算書と一致しない場合があります。比較のため、令和5年度は旧市体育館部分を除いた数字に補正しています。			

団体の財務状況	団体本体の経営状況について若干の懸念がある。
---------	------------------------

7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング、現地確認により検査を実施
実施時期	令和8年2月2日に総合体育館、2月3日に北総合体育館で実施

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	監査で指摘を受けたその他構成団体に係る出納事務マニュアル整備を確認した。
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目		取組状況
機種依存文字を使っていない。		○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。		○
単語の途中にスペースや改行を入れていない。		○
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。		○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。		—
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。		○
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。		○
その他取り組んでいること	スマートフォン対応の仕様としている。	

9 指定管理者の自己評価

利用状況

1 一般利用人数について

コロナ禍に減少傾向となっていた利用状況も近年では回復傾向にあり、令和7年度においては、全ての成果指標の項目で前年度よりも増加した。

また、子ども無償化の影響から、子どもを中心とした利用者増加の傾向が続く中、現在、利用している子ども達が、今後、一般（大人）料金となった際も継続して利用してもらえるよう、利用環境の整備は元より、更なる利便性向上に努めたい。

2 専用利用件数

令和7年3月から導入した予約システムにより、これまでの対面、若しくは電話での予約からインターネット上での空き状況の確認や予約ができるようになったことで利便性が向上し、利用者数を増加することができた。現在、利用登録団体は1,000団体を超過しているが、このことから、多くの利用団体に体育館を利用してもらう機会の創出に繋がった。

3 施設管理状況

老朽化による雨漏りや設備の不具合が増加している現状について、相模原市と適宜情報共有を図るほか、状況に応じて利用への影響が最小限となるよう種目間で利用場所の調整を行うなど、指定管理者として、工夫を行った。

また、指定管理者によるLED工事の実施により使用電力量を減少させることに成功し、電気量が高騰する中で、電気料金の削減に成功したことで、施設運営の収支改善に努めた。

今後は修繕費を有効活用し、不具合部分の解消を図るとともに、老朽化した競技備品の更新を計画的に行い競技環境の改善等に取り組むたい。

4 計画事業・自主事業

立地や利用者ニーズ等、体育館毎の特性を踏まえながら、より高い参加率が見込める自主事業を実施するとともに、新規事業についても積極的に企画立案し、実施に努めた。

今後も、利用者の声に耳を傾けるとともに、各事業の参加状況の確認や近隣地域からの情報収集等を積極的に行うなど、より魅力的な自主事業の実施に向けて取り組むたい。

10 所管課意見

総合体育館大体育室床改修工事の休止期間があったため成果指標が伸び悩み、また施設の経営状況については収支が指定開始から2年続けて赤字である上に構成団体の決算も3社のうち2社で赤字である。他方、事業の実施や利用者の満足度で良好な評価を得ている。団体利用Web申込の開始による利便性の向上やプロレス興行の誘致等の自主事業の拡充にも取り組んでいることから、それらの成果が今後の評価に反映されることを期待している。

施設の維持管理においては、設備の状況に丁寧に目を配ってもらい、適切な修繕や市への報告をあげてもらっている。総合体育館及び北総合体育館については建設から年月が経過しており、不具合も散見されるところで、今後も利用者の安心安全に配慮した運営をしてもらいたい。

11 選考委員会意見

・利用者数が増加するなど努力について評価できる。
・改修工事があったが多くの新規事業を行うなど、利用者増加への取組について評価する。利用者の声に対して早急な対応を行っているので、引き続き対応してもらいたい。北総合体育館については、低年齢層向けの事業をもっと増やしてほしい。
・改修工事があっても、多くの取組を行っていたことが分かった。経営状況のマイナス面により評価が下がることが残念だが、その点についても様々努力していることは確認ができていますので、全体の評価を向上させてほしい。
・北総合体育館は、通年にわたって暑さ寒さがあることなど構造に課題がある中で、利用満足度の向上や利用促進に取り組んでいる。公共施設としての性質上、興行偏重にならないようバランスを取りながら、収支の改善のために取り組んでいることを評価したい。天候不順で、屋外でスポーツをする難しさが出てきているので、今後とも様々な取組を期待したい。

総合評価（自動判定）

B

(60/100)

